

PARK HOSPITAL®

2025
December
TAKE FREE

地域連携で患者さんを支える
特集 入退院支援



Vol. 45

市民病院内の旬な人や出来事を紹介する PARK HOSPITAL NOW

はまフレ 開講

10月から、フレイル予防教室「はまフレ」を月1回開催しています。医師や専門職による講話や体操など、楽しみながら健康づくりに取り組める内容です。詳細は予防医療センター(⑬窓口)でご案内します。ぜひご参加ください。



フレイル体操



歩行姿勢測定

神奈川県 区民まつりに 出店しました



10月12日(日)、秋空の下、反町公園で「神奈川県区民まつり」が開催されました。市民病院のブースには、約450人の市民の皆さまにお立ち寄りいただきました。



出店内容

- あなたの老化度チェック
- 正しい手指衛生

初診の方は、紹介状をお持ちください

- 当院は「地域医療支援病院」に指定されており、他の保険医療機関等(かかりつけ医)と役割分担・連携して患者さんを診ております。
- 初診の方やはじめての診療科を受診される方は、他の保険医療機関等からの「紹介状」をお持ちください。
- 病状が安定しましたら、紹介元のかかりつけ医や当院と連携している医療機関などに、その後の診療をお願いさせていただきます。
- 初診時に紹介状がなく受診された場合、保険診療の自己負担金のほかに、保険外併用療養費(選定療養)として7,700円(税込)をお支払いいただいております。



初診予約はLINEがおすすめです
24時間365日いつでも予約可能

登録用
二次元
コード



横浜市立市民病院

診療
受付

月曜日から金曜日(土曜日、日曜日、祝日)及び年末年始は休診

初診の方は、紹介状をお持ちください

初診/再診 午前8:00~11:00(診療開始8:45)

〒221-0855 横浜市神奈川区三ツ沢西町1-1 ☎045-316-4580 内



救命救急センターでの受診について

- 平日日中 原則、救急車で搬送された患者さんのみ受入れを行っています。
- 夜間・休日 必ずお電話にて連絡の上ご来院ください。

編集・発行:横浜市立市民病院 編集協力:ブランケットクリエイティブ 発行日:2025年12月 無断転載禁止

掲載写真について:感染防止対策を十分に講じた上で、写真撮影時のみマスクを外しています。ご理解いただきますようお願いいたします。



地域連携で患者さんを支える 入院支援

市民病院では、入院が決まった患者さんやご家族が、安心して治療や入院生活に向き合えるよう、入院支援を行っています。入院前から退院後の生活までを見据え、院内のスタッフから地域の医療・福祉関係者まで多職種で連携し、患者さんをサポートします。その具体的な取り組みを紹介します。



PICK UP



患者総合 サポートセンター

患者さんや地域関係者の方々の「窓口」として、看護師・医療ソーシャルワーカー・事務などの多職種職員が連携して対応しています。ご相談のある方は総合案内奥の⑩窓口にお越しください。入院退院に関すること以外にも、療養に伴うさまざまなご相談をお受けしています。

入院の流れ



入院前

初診

担当医が治療方針を説明します。
※かかりつけ医からの「診療情報提供書（紹介状）」を踏まえて診療します。



入院前面談

入院が決まった患者さんやご家族が、身体的・精神的・社会的な準備を整え、安心して入院・治療に向き合えるように面談を行います。

入院当日

患者総合サポートセンターで受付後、病棟で入院治療について説明します。事前に、病名や治療方針を記載した「入院診療計画書」や、入院中の治療や検査のスケジュールが分かる文書などもお渡ししています。治療の経過は、担当医師や看護師からも随時説明しますので、必要なことがあればいつでもご相談ください。



退院に向けた調整

医師・病棟看護師・入院支援職員（医療ソーシャルワーカー／看護師）が情報を共有します。必要に応じて入院支援職員が、患者さんやご家族と退院に向けて面談を行います。



入院

退院前カンファレンス

病棟スタッフと、訪問看護や介護サービスなど療養を支援する担当者が集まり、情報の共有と退院後の連携について確認します。患者さんやご家族も交えて、退院後の生活について不安な点や、ご希望なども伺います。

- 治療内容、症状、処方薬などの情報共有
- 退院後のリハビリについて
- 介護保険など利用できる社会保障制度
- 訪問看護、訪問介護
- 手すり、介護ベッドなど福祉用具の利用 など



自宅での生活、 かかりつけ医の経過観察

病状が悪化するなど、急性期治療が必要になった場合は、再度市民病院で診療を行います。

自宅の近くで術後の経過を診てもらえて安心。





入院前から退院後までサポートします

入院前面談

安心してスムーズに入院治療に臨んでいただけるよう、入院が決まった患者さんやご家族と事前に面談を行います。

- 治療に関するご不安や、仕事や生活など入院に伴うお悩みのご相談
- 薬剤師による服薬状況の確認
- 入院手続きや入院中の生活についてのご案内



必要に応じて管理栄養士や、歯科口腔外科、リハビリテーション科とも連携し、入院に向けた支援を行っています。

私たちがサポートしています



看護師 / 浦島 有希

今後の治療・入院に対する不安やお困りごとについて、看護師がお話を伺います。がんの診断を受けた患者さんの中には、突然のことで頭が真っ白になり、治療や入院の話をすぐに受け止めきれない方もいらっしゃいます。その場合は、がん相談支援センターと連携し、まずは精神面でのフォローを行います。皆さんに治療や入院に安心して向き合っていただけるよう、看護師をはじめスタッフが全力でサポートしていきます。



薬剤師 / 廻 絵梨香

患者さんの服薬状況の確認を行っています。処方されているお薬だけでなく、サプリメントや市販薬の使用状況、アレルギーや副作用の有無まで、聞き漏れがないようにしています。患者さんの中には、処方されているお薬の名前がわからない方もいらっしゃいます。その場合は、薬剤師が薬局に問い合わせをして、患者さんとの間をつなぐことも行っています。面談にはお薬手帳を持ってきていただくとスムーズです。また、お薬のことでしたら何でもお尋ねください。



事務クラーク

入院時の持ち物のご連絡、お部屋のご希望など、事務的な手続きを担当しています。受診や慣れない手続きで戸惑う方も多いため、患者さんの様子に合わせて丁寧に説明をするよう心がけています。入院費用のことが気になる方には、自己負担限度額について説明したり、さらに詳しく知りたい方には別の窓口につながることもあります。面談後、わからないことがあれば、お電話やご来院の際にお気軽にお尋ねください。

退院調整

治療が終わっても、自宅の療養環境をどう整えたらいいのか、療養先をどうやって探すのかなど、患者さんはさまざまな不安を抱えていらっしゃいます。退院後も安心して過ごしていただくために、入院が決まった段階から退院後を見据えた支援を行っています。



医療ソーシャルワーカー

田中 智佳子



退院後もスムーズに療養生活を始められるよう、ご自宅に帰る支援や療養先の調整を、さまざまな機関と連携して行っています。病気によっては、からだの具合が入院前と変わることもあります。患者さんやご家族が望む生活を実現できるよう、課題を整理して道筋をつけることが、医療ソーシャルワーカーの役割です。連携機関の皆さんとも患者さんの情報を共有し、みんなで話し合いながら、解決方法を見つけていきます。

日ごろ連携している皆さんに聞きました



社会福祉法人恩賜財団
済生会神奈川県病院
病床管理・患者相談室

師長 佐々木 貴子



当院では、急性期治療を終えた方にリハビリや医療的ケアを提供していますが、特に力を入れているのが、退院に向けた支援です。入院前後からご家族や関係機関と協力して療養環境の準備を進めています。同じ神奈川県にある市民病院とは、日ごろから情報を共有しています。地域内で連携体制を築き、切れ目のない医療を提供することが、患者さんの安心につながると考えています。



神奈川県医師会
訪問看護ステーション

管理者 石橋 好子



年齢や疾患を問わず幅広い患者さんに、病状観察や医療機器の管理などの看護ケアを提供しています。特に急性期治療後は、退院後も医療処置が必要な場合が多く、病院の医師や看護師とも連携し、ご自宅などで安全に過ごしていただけるよう努めています。私たちは患者さんの生活環境に寄り添う看護を大切に、訪問開始前に直接お会いできる機会には、お気持ちや暮らしの様子を丁寧に伺うよう心がけています。



横浜市沢渡三ツ沢地域
ケアプラザ
地域包括支援センター

左から

社会福祉士
伊藤 朝美

保健師
藤田 玲子

主任介護支援専門員
鈴木 宏美



地域包括支援センターでは、健康や生活などさまざまなお困りごとの相談をお受けしています。特に高齢の方は、けがや病気で入院されると身体や認知の機能が低下し、元の生活に戻るために支援が必要になることもあります。地域の相談窓口として、ご本人の希望を大切にしながら、医療や介護、行政など必要なサービスや機関につながっています。住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、地域連携に取り組んでいきます。



看護師の専門性が広がっています

～ 特定行為研修修了看護師の新たな活躍～

看護師特定行為研修とは？

高齢化により医療ニーズがますます高まる一方で、医師の働き方改革が進んでいます。限られた人材で質の高い医療を守るためには、これまでの体制の見直しによる新しい役割分担が求められています。その中で注目されているのが、看護師がより専門的な処置を行うことが可能となる「看護師特定行為研修」です。この研修を修了した看護師は、医師の指示のもと、専門的な医療行為を安全に実施できるようになります。研修では、医学的知識や判断力、技術を習得し、患者さんの状態に応じた迅速な対応が可能になります。

患者さんにとってのメリット

迅速な処置

医師の指示により、看護師がすみやかに安全な処置を行えるため、治療のタイミングを逃しません。

より身近な医療者としての看護師

患者さんのそばにいる看護師が、より専門的な判断と処置を行えることで、安心感が高まります。

当院での取組

当院ではこれまでに**25人の看護師**が特定行為研修を修了しています(令和7年11月1日時点)。



特定行為の実施例



ICUでの人工呼吸器の管理
(呼吸器関連分野)



手術後の傷や褥瘡の処置
(創傷管理関連分野)

脱水症状に対する輸液の管理
(栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連分野)

インスリンの投与量の調整
(血糖コントロールに係る薬剤投与関連分野)

これらの看護師は、医師と密に連携しながら、患者さんの状態に応じたケアを行っています。現場ではすでに活動が始まっており、今後さらに多くの分野に拡大していきます。

小児内分泌外来

お子さまの成長やホルモンのお悩み、専門医にご相談ください。

診療日(小児科小児内分泌外来)

月曜・水曜 午後

小児内分泌疾患は、ホルモンの異常によって起こる病気で、身長伸び方、思春期の進行、体重の変化、糖尿病など、さまざまな症状が現れます。当院では、小児内分泌の専門医をはじめ、糖尿病療養指導士の資格を持つ看護師など、多職種が連携して、専門的な医療を提供しています。性別や年齢に応じてきめ細やかに診療いたしますので、気になることがございましたら、お気軽にご相談ください。



<対象疾患の例>

- 低身長、高身長、成長速度の異常
- やせ、肥満
- O脚、骨折を繰り返す
- 生活習慣病(小児肥満、多飲多尿)
- 思春期(乳房発達、恥毛、初経)が早すぎる、遅すぎる

● 初診時は紹介状が必要です。 ● 受診の際に、これまでの成長の記録がわかるもの(母子手帳、学校健診の結果など)をお持ちください。

登録医療機関をご紹介します

キャップスクリニック天王町(保土ヶ谷区)

【診療科目】小児科

● 365日年中無休で診療

大切なお子さまの“かかりつけクリニック”として、いつでも安心して専門的な医師による診療を受診できるよう、「365日年中無休・21時まで夜間も診療」を基本方針とした診療体制を整備しています。

● 土日祝日も予防接種・健康診断が可能(※要予約)

健康を維持し、病気を予防するためには、予防接種や健康診断が重要です。平日の受診が難しい方にもお応えできるよう、土日祝日の予防接種・健康診断にも対応しています。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~13:00	○	○	○	○	○	○	○
15:00~21:00	○	○	○	○	○	○	○

【休診日】年中無休

〒240-0001 神奈川県横浜市保土ヶ谷区川辺町3-5 イオン天王町ショッピングセンター3階
TEL:045-489-3502 URL:https://caps-clinic.jp/tennocho/

